

複合型在宅サービスの実践と 来年度に向けて

社会福祉法人芦別慈恵園
複合型在宅係 藤山勇人

はじめは
お客様やご家族様の声…

「ショートステイに行っても退屈だ」
「同じ慈恵園なのに、伝えたことなど
なぜ知らないのか」



在宅サービス事業を一体化して運営



平成31年4月芦別慈恵園
複合型在宅サービス誕生

デイサービスセンター 18名
なごやかサロン 7名

短期入所生活介護 6名
在宅入所相互利用 2名

複合型在宅
サービス

もみじの家 10名

訪問介護

主な特徴



- 入浴、食事、ふまねっと、体操、学習療法など、他の事業所のお客様と一緒に参加することができます。
- 職員が常に同じ顔ぶれであり、安心してサービスを受けられます。
- 初めてのショートステイでも、慣れたデイサービスで日中は過ごせるので不安なく利用することができます。

職員の配置

職員不足を解消！！



目指すべき複合型介護職員



「複合型介護職員の
モデルとなる職員」



どこでもなんでも
出来る！

複合型在宅サービスの特色

皆さんを元気にするため
「ふまねっと」と「学習療法」が特色



ふまねつ
と

平日 8 セット 実施



ふまねつとの評価について

・タイムアップ&ゴーを実施して、3メートルの距離を往復して歩いていただき時間を測定しております。

タイムが速く
なった

歩くのが良く
なった

生活に自信

学習療法

現在 43名 実施



今年度より、2対1支援を再開しています。お客様同士で、お話しする機会にもなっています。

余暇活動

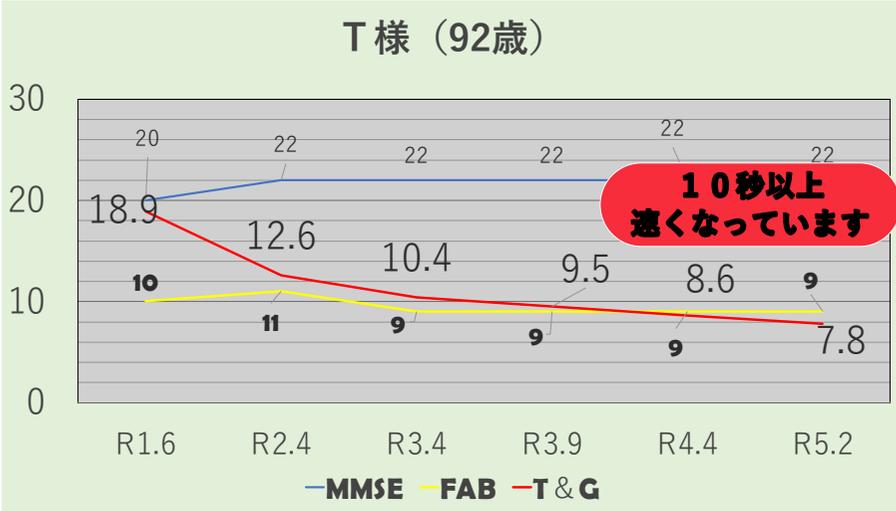


麻雀、囲碁は、男性陣に人気です！
女性は、おやつ作りや花札が大人気！



ふまねっとの成果

T様の事例
 疾患名：アルツハイマー型認知症
 左大腿ヘルニア、小腸壊死切除術後
 介護度：要介護2
 サービス利用開始：平成31年5月～
 サービス：もみじの家 週2回
 ショートステイ 2週間/月2回
 平成31年5月から学習療法も実施。



平成31年5月
 身長129.4cm 体重37.5kg
 BMI 22.4

令和5年2月
 身長129.4cm 体重31.2kg BMI 18.6

体重は減っていますが、
 元気になってきています！

複合型在宅サービスにした結果・・・

ふまねっとや学習療法、余暇活動を通じて楽しみや役割を持ち、元気に利用していただけている

ショートステイのお客様は、ユニットからデイサービスセンターまでの移動やふまねっと等を通して活動量が増え、身体機能が向上した。

職員不足が解消できたことと、チームワークも高まり、協力し合える体制が構築された。

コロナの影響で休みにになり・・・

体力の低下
歩行能力低下

体重減少

認知機能低下

1食でも健康を支える

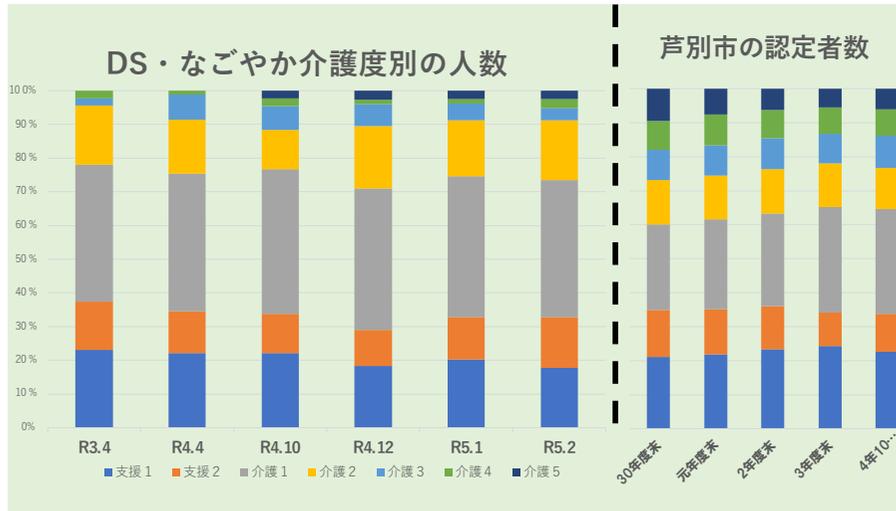


<要介護認定者数の推移と推計>

(単位：人)

要介護度	年度	平成30年度末 (H31.3)	令和元年度末 (R2.3)	令和2年度末 (R3.3)	令和3年度末 (R4.3)	令和4年10月末 (R4.10)
要支援1		281	287	296	300	279
要支援2		181	172	158	123	138
要介護1		335	347	345	382	378
要介護2		173	169	164	160	151
要介護3		119	116	114	107	116
要介護4		112	119	105	96	95
要介護5		126	98	80	68	75
合計		1,327	1,308	1,262	1,236	1,232
第1号被保険者数		6,323	6,253	6,180	5,948	5,849
認定率		21.0%	20.9%	20.4%	20.8%	21.1%

(参考：芦別市役所介護高齢課介護保険係 資料)



来年度に向けて

コロナにより減少した稼働率を、向上させるため・・・

- ご家族様へ利用中の様子を見学する機会を作る。
- 元気に自宅での生活がこれからも続けられるよう、**ふまねっとや学習療法**を続けていく。
- 楽しみとなるような活動やカラオケを再開。
- 営業を続け、複合型だけではなく慈恵園全体の営業を行なっていく。

★お客様のために★

スタッフも一緒にお客様と楽しみながら、笑顔や笑い声の多い、働きやすい環境を作っていきたいと思っております！